



マスコットキャラクター
くーも

SSH特集号 Active

H29~H33の5年間、文部科学省より

スーパーサイエンスハイスクール

の指定を受けています



三田祥雲館高等学校は、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定（第2期・5年間）を受け、先進的な理数教育を推進しています。

単位制普通科の特色を生かし、学校設定教科・科目を効果的にカリキュラムに組み入れ、課題研究を中心とした『探究活動』を全生徒が3年間学習します。理数系のコースや学科は設置せず、1年次全員と2、3年次の理系生徒を対象にした他にはないSSHの取組です。（以下は本校SSHの概略紹介です。）

ロボカップジュニア全国大会



研究したいことを徹底して取り組める環境を整え、理数系のクラブ（理科部・天文部等）を活性化。また、コンテスト等への参加機会も充実。

【高大連携】

関学・京大・阪大・神大・人博等と緊密な連携を進め、「課題研究」を深化

全国規模の発表会に出場する機会が増え、よい刺激を受けることでレベルアップ。交流の場も大きく広がる。



全国のSSH校が集まって生徒研究発表会

挑戦し続け 世界で突き抜ける科学技術系人材を育成

【海外連携】

- ・海外科学研修
- ・TV会議等で議論（オーストラリア、アメリカ、タイ、台湾等と連携）

【地域連携】

- ・祥雲子ども科学教室
- ・サイエンスキャンプ
- ・サイエンス・カフェ

子ども科学教室



地域の小中学生を対象とした科学教室等を高校生が企画。科学の楽しさを伝え、地域の理数教育に貢献。三田市教育委員会等と連携。

海外の大学、研究施設、高校等を訪問し、見学・交流・実験・協働学習等を通して学ぶ。英語をツールとして使い、発表や議論ができる力をつける。

西オーストラリア州立大学での化学実験



スーパーサイエンスハイスクールに関するQ&A

【Q1】スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは何ですか？



文部科学省が先進的な理数教育を推進する高等学校として全国から約200校を指定し、支援する事業です。日本の将来を担う科学技術者を育てることを目標にした国家プロジェクトになっています。

平成29年現在、兵庫県の県立高校では7校（本校の他に、神戸高校、尼崎小田高校、加古川東高校、明石北高校、龍野高校、豊岡高校）が指定を受けています。

【Q2】SSHの指定を受けると何が違うのですか？ どのような効果が望めますか？

文部科学省からの手厚い支援（活動の機会、助言、予算等）があり、国内外の大学、研究機関、企業等と連携してダイナミックな活動ができます。

例えば、第一線で活躍する研究者による講演や講義、国内や国外の研究施設等での研修、海外の大学・高校との交流や協働学習などです。しかも国内外の研修旅行や研究発表・コンテスト参加等に伴う旅費等が補助されます。

また、校内の実験用備品などを充実させることもできます。さらに、全国のSSH校との交流や発表の機会に恵まれ、新たな刺激を受けることで視野が広がり、学習意欲の高揚や将来の展望などが期待できます。



海外の大学で教授・大学院生等から指導を受け、現地高校生と協働学習

【Q3】三田祥雲館高校のSSHの特色は何ですか？

本校は平成21年度から第1期（開発型）指定を受け、今回は第2期（実践型）指定です。

- ① 理数に関するコースや学科を設置せず、単位制を活かしたカリキュラムを研究
 - ② 1年次の全生徒、2、3年次の理系生徒を対象とし、全生徒が3年間「探究活動」を実践
 - ③ 高大の連携をより緊密にした取組を推進
 - ④ 海外の大学や高校と連携した協働学習や研究発表
 - ⑤ 地元三田市の科学教育に資する活動（小中学生等を対象）の企画・実施（子ども科学教室、サイエンスキャンプ等）
- この他にも、本校独自の多彩な取組があります。

三田市は近代化学の祖と言われている“川本幸民”の生誕地だよ！



【Q4】三田祥雲館高校は理系重視の学校ですか？

本校は文系も理系も同じように重視しています。SSHの指定によって理系教育の充実が確かです。しかし、それに負けないくらい文系の教育にも力を入れています。実際、2年次以降の生徒数では文系生徒の方が多くなっています。（各年次の約55%は文系）

例えば、県の事業である「インスパイア・ハイクール」では『人文社会教育研究』分野で指定を受け、文系生徒の指導に生かしています。そして、探究活動（課題研究）は、文理共に全ての生徒が3年間を通して取り組んでいます。

また、1年次生は全員がSSHの対象になっていますが、これは文系方面に進む生徒にとっても科学リテラシーを身につけることが将来のために必要だからです。SSH事業は理系生徒のためだけではなく、将来文系に進む生徒にとっても有益であるように展開しています。



WHOと大阪大学主催の「国際問題を考える日」で発表する本校生（文系の生徒）